

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

7700/01/20グループをご使用の場合、新規モデルには、7700の場合は7702グループを、7701の場合は7703グループを、7720の場合は7721グループを、ご採用いただけますようお願いいたします（7700グループは7702グループに、7701グループは7703グループに、7720グループは7721グループに、それぞれ集約します）。また、7730グループは、今後、生産を収束する方向に向かいます。新規モデルには、7702/32/33グループなどをご確認ください。

MSC TECHNICAL NEWS

No. M7700-43-9310

7700シリーズ シリアル/I/Oエラーフラグに関する注意事項

対象品種

7700シリーズ 7700シリーズ：
7700/7701/7702/7703/7704/7705/7708/7710/7720/7730/7732グループ

注意事項

クロック同期形シリアルI/O及びUARTでの受信動作時
連続したデータを受信する場合、受信データを受信バッファレジスタから読み出した後、次のデータ受信を行ってください。

クロック同期形シリアルI/O及びUARTでの受信動作時、受信ステータスフラグ(受信完了フラグ、オーバランエラーフラグ、フレーミングエラーフラグ、パリティエラーフラグ、エラーサムフラグ;UART送受信制御レジスタビット3~7)は、受信バッファレジスタ読み出しによって、クリアされます。

このため、連続したデータを受信する場合、1組のデータ(下図A)の受信完了後、

- ①受信ステータスフラグのチェック
- ②受信バッファレジスタ読み出し

の間の期間(下図T)に、次のデータ(下図B)の受信が完了し、このデータB受信で上記エラーが発生しても、これらのエラーを検出できないことがあります。特に、オーバランエラーフラグの検出ができないことによって、前データAを次データBとして処理してしまうことが考えられます(この場合には、割り込み要求は発生しません)。

したがって、受信データを、受信バッファレジスタから読み出した後、次のデータ受信を行ってください。

